

More Interesting Economy みえ経済

菰野町菰野の複合温泉リゾート施設を手掛ける「アクアイグニス」が十一月、大阪府泉佐野市のりんくうタウンに「アクアイグニスりんくう 泉州の湯(仮称)」を開業させる。大阪湾を望める大浴場や地場産品を使った食で「癒やし」の空間を提供する。関西には初進出となる。(梅田歳晴)

菰野のアクアイグニス 関西進出

同社の施設は、有名デザイナーらが空間造りに関わり、洗練された内外装が全国的に人気を博す。食では地場産の食材を使った一流シェフやパティシエの店舗が入居。菰野の施設では二〇二二年の開業以来、六年連続で来館者が年間百万人を超えている。

関空対岸に11月 入浴と食の施設

今回出店するりんくうタウンは関西国際空港の対岸にあり、エイチ・アイ・エス(HIS)ホテルホールディングスが運営する「変なホテル」に併設する



①外観イメージ。正面右側の建物が温泉施設 ②施設内に設けるレストランのイメージ。いずれもアクアイグニス提供

立花哲也社長(四五)は「大浴場からは海が見える良い場所。地元食材を使った和食、有名パティシエのスイーツのお土産など、観光客だけではなく、地域の人にも楽しんでもらえる」と胸を張る。同社は、昨年七月から知多半島道路(愛知県)の阿久比パーキングエリア(PA)を運営するなど、菰野以外での施設展開を広げている。二〇二〇年秋には、多気町前村で食と健康をテーマにした産直市場やホテルなどの民間複合施設を開業する。

伸びて患部包む冷却剤

松阪・三重化学工業が開発

保冷剤メーカー三重化学工業(松阪市)が、医療用の冷却剤「ぶるCUREアイスパック」を開発した。冷やしても軟らかいまま伸び縮みし、患部を包み込むように冷やせる。樹脂加工製造のタナック(岐阜市)との共同開発で、二十一日に発売する。来年に東京五輪・パラリンピックの開催を控える中、熱中症対策グッズとしての販路拡大も目指している。

三重化学工業は一九五六年創業。食品に使う保冷剤などを取り扱う中、技術を生かした新商品を開発しようとして、十年前から医療分野に進出している。タナックとは六年前、県が東京で企画した医療関係の展示会で知り合い、共同での商品開発を始めた。

六日に県庁で完成報告会があり、山川大輔社長(四二)が鈴木英敬知事らに商品を紹介した。山川社長は「新感覚のさわり心地。今までに扱ったことのない素材なので、袋を閉じるのが難しく、開発に時間がかかった」と話した。

縦十センチ、横二十二センチで約四百グラム。税別で三千三百円。まずは病院や学校の保健室向けに販売する。山川社長は「スポーツの現場や子ども向けに、熱中症対策の商品としても提案できればいい」と話した。(吉川翔大)

元号が「令和」となったのを記念し、四日市市西山町の鬼瓦製造販売会社「サタケ製鬼所」が、「令和」と「喜」の漢字陶板を製造し、業者向けに販売している。六月下旬の発売後、すでに九州や四国方面から注文が入っているという。

陶板は二十センチ四方の大きさ。粘土を水で溶かし、石ころの型に流し込んで成型する。乾燥させた後に千度ほどの温度で焼き上げ、表面に塗装を施す。完成するまで一週間ほど。住宅様式の鬼瓦の製造にバリエーションと企画した。板は文字どおりの漢字の中「ろ」の平仮名だ。佐竹一見社ひお土産や記してもらえなかった。価格は基本



ぶるCUREアイスパックを披露する山川社長=県庁で

「令和」「喜」の陶板製造

四日市・サタケ製鬼所



完成した「令和」「喜」の陶板。四日市市西山町で

完成した「令和」「喜」の陶板。四日市市西山町で

グチームのリーダー佐藤来実さん(七)も「同じ学年の子とは思

(足達優人)

らがオリジナル曲「スナール」を甲子園で初めて演奏

立させる曲を」と頼まれ、芸術大の音楽学部出身で吹

データ注

公共工 3年ぶ

県内の公共工が三年ぶりに本建設業保証〇一八年度は億円と前年度増えた。近年摩サミットの控え、公共工立った一五年となった。増額の大きが、高速道路だ。県内では名神高速道路